



特定非営利活動法人

## 神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 326

Februar 2018

### NPO法人 神戸日独協会

〒651-0087

神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館 19F

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

### NPO JAPANISCH-DEUTSCHE GESELLSCHAFT KOBE

International House Kobe 19F

Goko-Dori 8-1-6 Chuo-Ku

651-0087 KOBE/JAPAN

## 2017年度を振り返って

会長 柘田 義一

今年度は例年になく寒さの厳しい日が続いていますが、会員の皆様にはご健勝のことと存じます。今年度を振り返るには、まだ時期尚早かとは思いますが、来年度の協会の運営・活動の準備をしなければならぬ時期になりました。今年度の協会の運営・活動を振り返り、現在の協会が抱えている諸問題を提示して、会員の皆様のご意見をお伺いしたいと思います。

今年度は「クリスマス祝賀会」などの定例の催し物に加えて、「神戸開港150周年」、「宗教改革500年」の記念年でしたので、これらを記念しての講演会、展示会なども行いました。今年度はこれら催し物への会員参加の減少傾向が強く見られました。また近年の傾向として講座受講者の行事参加が極めて少ないのも大きな問題点です。これらについては理事会・実行委員会にて協議をいたしました。催し物がマンネリ化して会員の関心を得られていないのではないかと、新しい講座受講者に協会の催し物の主旨(ドイツ及びドイツ語理解のために、ドイツの文化などの背景理解の機会提供)が理解されていないのではないかなど意見が出されました。今後とも会員のドイツ及びドイツ語理解の一助として時宜に適った行事を提供していきますが、新しい行事の提供についてご意見をお願いいたします。

協会では戦後の再設立以来「ドイツ語講座」を開講し、受講料が協会の運営を支える大きな資金源となっています。ドイツ語講座の受講者にも漸減の傾向が、特に会員に、見られます。協会ではドイツ語学習の動機・興味・必要性に応じた講座を提供するように努めていますが、時間割編成に限られ、特に最近では日本人及びネイティブの講師不足のために、会員の需要に合う講座が提供できていないのが現状です。来年度は系統的な学習のできるカリキュラム、昼間授業、すでに既習の方のため特別クラスの提供などを予定していますが、ドイツ語学習のためのご希望をお知らせください。

協会では会員への情報発信、会員相互の交流のために「会報」を毎月発行しています。「会報」の編集、印刷、発送はすべて会員のボランティアによって行われています。印刷・発送のお手伝いについては、毎月会報でご協力をお願いしていますが、今年度はご協力が数名の方に限られ固定化しています。ご協力いただいている方は失礼ながらご年齢も高く、会報の続行が懸念されます。

また昨年後半より発送費が値上がりとなり、毎月の発送にとって負担となっています。  
協会では昨年度から「協会からの情報発信」としてホームページの充実にも努めてきました。会報のためのボランティアが見込めないこと、発送費の負担、ホームページの充実などから、会報の発行を現行の毎月から、例えば隔月、季刊などへの変更を考える時期に来ていると思われます。会報の作成・発行体制、会報とホームページとの役割のすみ分けなどについてご意見をお寄せください。

協会ではこれらの問題を解決するために、理事会及び実行委員会にて更に協議を続けていきますが、さらにアンケートなどにより会員の皆様の声を反映した新年度の協会の運営・活動計画を策定したいと思っています。

協会の現在の問題点をご理解いただき、今後ともご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 会員によるコンサート開催

～チケット事前予約開始～

これまで神戸日独協会は、音楽家の会員のご協力を得て、コンサートを開催してきました。今年度は若手会員の発案により、ステージと客席との隔たりがなく、飲物を飲みながらゆつくりとくつろいだ雰囲気の中でのコンサートを開催します。日曜日の夕刻、是非とも新企画のコンサートにお出で下さい。

昨年のクリスマス祝賀会で演奏してくださいましたケーラー総領事(チェロ)が再び登場します。ソロ、連弾、三重奏と様々な演奏をワインなどを片手にお楽しみください。チケットの事前ご予約をお願いいたします。

\*ドイツワインをご用意いたします。株式会社ドイツ商事/ローテ・ローゼ協賛

\*その他、オレンジジュースなどのソフトドリンクをご用意いたします。(ビールはありません)

日 時: 2018年2月25日(日)16時開演(開場:15:45)

会 場: 音楽ホール&ギャラリー里夢 SATOM

(神戸市灘区曾和町1-4-2-B1、阪急六甲駅下車2番出口 徒歩6分)

会 費(飲物付): 会員及び会員のお連れ様(何人でも)1000円、非会員1500円

プログラム&演奏者(略歴):

◇ バッハ作曲 無伴奏ヴァイオリンソナタ、ベートヴェン作曲 ピアノソナタ

…ヴァイオリン、ピアノ 上杉 恵一(高校よりクラシック音楽に興味を持ちピアノを独学で大学からバイオリンをはじめる! 50歳過ぎから基礎の大切さを悟り多くのアマ音楽家と積極的に交わる事を心がける! 55歳から専門家の指導のもと研鑽を重ねる)

◇ ピアソラ作曲 ブエノスアイレスの冬

…フルート 藤田 美紀(昭和音楽大学短期部器楽科卒業後、渡仏)

◇ シューマン作曲 パピヨン

…ピアノ 平山 梨絵(ドイツ国立フライブルク音楽大学を経てドイツ国立トロッシゲン音楽大学)

院(ピアノ専攻)を卒業。2014年よりウィーン国立音楽大学に留学し2015年帰国)

◇ モーツァルト作曲 トルコ行進曲(ピアノ連弾バージョン)

…ピアノ Sung Kwang-Hye(京都市立堀川音楽高校、京都市立芸術大学、ミュンヘン音楽大学院  
マイスタークラス修了)、ピアノ 陣門華子(京都市立芸術大学、大学院を経てフランスリヨン高  
等音楽院修了)

◇ シューベルト作曲 トリオ

…フルート 藤田 美紀、チェロ ヴェルナー ケーラー(大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事、ド  
イツで、オーケストラ活動に参加)、ピアノ Sung Kwang-Hye

チケット予約: 2018年2月23日(金)午後5時までに事務室にご連絡ください。

会費はコンサート当日、会場でお支払いください。

Tel/Fax 078-230-8150、E-mail:info@jdg-kobe.org

末廣亜矢子先生

平成29年度(第72回)文化庁芸術祭 受賞

当協会のドイツ文化教室 声楽教室の講師でソプラノ歌手の末廣亜矢子先生が、9月の会報  
(Nr. 321)でもお知らせした関西二期会 第88回オペラ公演「魔弾の射手」のエンヒェン役で、  
平成29年度(第72回)文化庁芸術祭の音楽部門新人賞を受賞されました。

文化庁芸術祭は、広く一般に優れた芸術の鑑賞の機会を提供し、芸術の創造とその発展を図  
り、芸術文化の振興に資することを目的として昭和21年以来毎年秋に開催される芸術の祭典で、  
それぞれの部門で公演・作品内容を競い合い、成果に応じて文部科学大臣賞(芸術祭大賞、芸術  
祭優秀賞、芸術祭新人賞)が贈られます。

今回の受賞につきましては、「関西二期会の『魔弾の射手』は合唱をうまく動かして生き生きとし  
た舞台を実現していたが、主演者たちのディクシヨンの問題などドイツ語オペラ上演としては課題  
も残るものであった。その中で光っていたのがエンヒェン役の末廣亜矢子で、役柄をよく理解した  
演技と共に、ドイツ語を歌うという点での達成を高く評価する。」とあるように、先生の歌唱力は基  
より、今まで数々のオペラの主役を演じられて来られた経験と、ドイツ歌曲や日本歌曲への造詣  
の深さが、この賞に繋がったと思います。何よりもドイツ語を評価されての受賞が、当協会にとっ  
てもうれしい限りです。

今後とも声楽家としての先生の益々のご活躍と当協会 声楽教室においてより一層ご尽力頂け  
るよう、これからもお願い致します。

(会員 清水 裕子)

# ドイツ語談話室

## 第170回ドイツ語談話室

日 時： 2018年1月20日(土) 14時—16時

場 所： 神戸日協会 会議室

テーマ： ドイツの新しい政府と政党連合

今回の司会は林典人氏が担当され、ドイツで来週最大のテーマとなる政党連合について、今日この談話室で白熱の討論をしましょう、と話された。

先ず参加者の一人が、2013年と2017年の各政党の得票率の変化を白板に書かれて、明らかに CDU/CSU と SPD は減少し、AfD と FDP が大きく増えていることを確認された。

以下に参加者の意見の一部を紹介する。

—明日、1月21日、ドイツでは SPD の党大会があり、大連合に賛成するかどうかの方針が出される。SPD は一旦大連合を拒否したが、同党出身のシュタインマイヤー大統領の強い要請で、再度党の方針を検討することになった。しかし、党内の若手グループが CDU/CSU との連合には反対をしている。

—いわゆるジャマイカ連合(CDU・黒/FDP・黄/GRÜNEN・緑の連合はその各党のシンボルカラーの組み合わせがジャマイカの国旗と同じである事による)の可能性もあったが、環境問題と避難民問題の方針が大きく違うため不成立。

—政権実現への努力は絶望的、トップのいないドイツ、ぎこちない和合、云々といった言葉がメディアに散見される。

—大連立が失敗したら、CDU/CSU は少数政権を考えていないので、再度総選挙が行われる事態となる。

—連立政権の交渉を難しくしている大きな要因は、難民問題、健康保険問題、環境問題等である。

妥協はドイツの政党間においてとても難しい問題であるようだ。

—政治というものは、最も汚らしいビジネスである。

明日の SPD 党大会の結果を皆さんで予測した所、希望的観測も含め、全員が、大連立に賛成が多数となるだろう、と予測した。

### 今後のドイツ語談話の予定

第171回 2018年2月17日(土) 14-16時 テーマ:年金制度 日独の比較

第172回 2018年3月17日(土) 14-16時 テーマ:物の買い方

# Deutsche Gesprächsrunde

## Protokoll der 170. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit Samstag 20. Januar 2018, 14 bis 16 Uhr

Thema: Die neue deutsche Koalitionsregierung

Dieses Mal hatte Herr Norihito Hayashi die Gesprächsleitung und erwähnte, dass nächste Woche in Deutschland als wichtigstes politisches Thema die große Koalition diskutiert wird.

Er schlug vor, dies bei der Gesprächsrunde zu besprechen.

Ein Teilnehmer schrieb die Resultate der deutschen allgemeinen Wahlen der Jahre 2013 und 2017 auf die Tafel. Die Daten zeigen einen klaren Rückgang bei CDU-CSU und SPD und deutliche Zunahmen bei AfD und FDP.

Bei der Gesprächsrunde kam es unter anderem zu folgenden Wortmeldungen:

-Eine Teilnehmerin erwähnte, dass am folgenden Tag, Sonntag 21. Januar, die SPD ihren Parteitag abhält und dort die Möglichkeit einer großen Koalition diskutiert. Eigentlich hatte sich die SPD bereits gegen eine solche Koalition entschieden, dem dringenden Wunsch von Bundespräsident Frank-Walter Steinmeier folgend, wurde das Thema jedoch erneut aufgenommen. Besonders die junge Gruppe der Partei, JUSO, stellt sich gegen eine große Koalition.

-Ein Teilnehmer erinnerte an die Möglichkeit einer „Jamaika-Koalition“, die Unterschiede in den Haltungen der Parteien gegenüber den Themen Umwelt- und Flüchtlingspolitik machen eine solche Koalition nun jedoch unmöglich.

-Eine Teilnehmerin findet in den Medien viele sprachlich interessante Ausdrücke und Wendungen: Z.B.: „Regierung verzweifelt gesucht“, „Deutschland oben ohne“, „Zwanghafte Harmonie“, usw.

-Ein Teilnehmer nimmt an, dass CDU-CSU keine Minderheitsregierung wünschen. Wenn die große Koalition nicht zustande kommt, wird es wohl Neuwahlen geben.

-Ein Teilnehmer meint, dass in den Problempunkten Flüchtlingspolitik, Krankenversicherungen und Umweltpolitik Kompromisse unter den deutschen Parteien wohl nur sehr schwer zu erreichen sind.

-Eine Teilnehmerin findet, dass Politik letztlich ein wirklich schmutziges Geschäft ist. Am Ende hat jeder gesagt, mit welchem Ergebnis des SPD Parteitags er morgen rechnet. Alle Teilnehmerinnen und Teilnehmer erklärten die Ansicht, dass sie für eine große Koalition wären.

### Nächste Treffen:

Samstag 17. Februar 2018, 14 bis 16 Uhr; Thema: Die Rentensysteme in Japan und in

Deutschland.

Samstag 17. März 2018, 14 bis 16 Uhr;

Thema: Die verschiedenen Arten, Dinge zu kaufen.

## 催し物参加報告

### 関西地区日独協会合同新年会

会員 大西 晋輔

今年も関西地区日独協会合同新年会が1月13日にありました。開催場所は同じですが、阪急梅田駅からお初天神へ向かう途中にあった小学校が解体され、大阪駅の南側も変わりつつあるのがわかりました。

2016年の新年会から参加していますが、今年は昨年より初めて見る方が多いように思いました。忘年会は他でも多いですが、新年会への参加はここ最近日独協会のものだけになっています。

恒例の餅つきもあり、石の臼にかわるがわる餅をつく光景が今年も繰り広げられました。子どもの頃、木の臼で餅つきをしているところを見たことがありましたが、石臼で餅をつくところは、新年会に参加して目にするようになりました。つきたての餅は、きなこよりも大根おろしで食べるのが好きで、大根おろしの方ばかり食べていました。さっぱりしていたというのもありますが。

また2018年は、明治150年にあたり、各府県も150年を迎え、様々な行事もあるようで、楽しみな1年になりそうです。

## 後援セミナーのご案内

### 日系企業のためのドイツビジネスセミナー

公益財団法人兵庫県国際交流協会などの主催によりドイツへの進出を検討している日本の中小企業のためのセミナーが開催されます。

このセミナーでは、英国のEU離脱がEU経済にもたらす影響やEPA後のEU経済の見通しの概観、ドイツ中小企業を対象にしたM&A事情、日本企業による現地代理店・販売店の起用、ドイツ国内の事業拠点の立ち上げ(現法と駐在事務所、滞在許可、雇用)などについて、日系企業のドイツでのビジネスの実情に詳しい弁護士が主にビジネス・法律実務の観点からお話します。(チラシより)

第1部 セミナー(14:00~16:00)

講演 1: 「ブレグジットのその後～今こそドイツ進出の好機～」

講師：ペーターズ法律事務所・所長 ヴォルフガング P. J.・ペーターズ弁護士

講演 2: 「ドイツ進出・販路拡大のキーポイント」

講師：ペーターズ法律事務所・ジャパンデスク部長 リヒャルト正光・シャイフェレ弁護士

第2部 名刺交換会(16:00~17:00)

日時：2018年3月7日(水)14:00~17:00(受付開始13:30)

会場：スペースアルファ三宮 中会議室1

(神戸市中央区三宮町1-9-1 三宮センタープラザ東館6階)

参加費：無料(先着50名)

申込：同封の参加申込書にて FAX:078-230-3280、E-mail : [hia-ex-co@net.hyogo-ip.or.jp](mailto:hia-ex-co@net.hyogo-ip.or.jp)

問合せ先：公益財団法人 兵庫県国際交流協会(078-230-3090)

☆詳細は、同封の「チラシ」をご覧ください。

## 近著紹介

### 寺澤行忠著「ドイツに渡った日本文化」 (2017年10月 明石書店)

著者は西行諸歌集の文献学的研究を専門とする慶應大学名誉教授であり、現在は横浜日独協会の理事である。

本書は、「日本の文化がドイツでどのように受け入れられているか、各分野にわたる受容の具体例を、できるだけ客観的に記述し、その上で日独両国が今後進むべき道について考察した」(あとがきより)ものである。先ず序章にて第二次世界大戦までの「日独文化交流前史」が概観され、「第二次世界大戦までは、日本からドイツへの文化の紹介とその受容は、おおむね知識層の世界のものであり、日本とドイツの交流が一般に広く、本格的に行われるようになるのは、第二次世界大戦以後のことである」が指摘されている。

第一章ではマンガ・アニメ、寿司・ラーメンなどの日本食、和太鼓、落語などの現代文化の受容、第二章では茶道、生け花、能などの舞台芸術、日本庭園と盆栽などの伝統文化の受容、第三章ではベルリン東洋美術館など諸美術館における日本美術作品コレクション、第四章ではドイツにおける俳句、第五章では日本語図書のドイツ語翻訳と出版、が紹介されている。

第七章はドイツの大学で日本学や日本語教育がどのように行われているのかを、フンボルト大学など大学ごとに具体的に紹介されている。各大学での著名な日本語学者も紹介されている。

第八章はドイツの主要都市における日本文化関係の施設(ベルリン日独センターなど)・機関(各日独協会など)、ヤーパンフェスト・ヤーパンタークなど日本文化が受容されている具体的状況の紹介。そして終章「日独文化交流の将来—東西文明・文化の融合へ」。

ドイツ紹介の書籍は多いが、本書は戦後「各方面で友好親善関係が進んだ。そうしたドイツに受容

された日本文化の状況」を述べたものである。団体・機関の間であれ、個人の間であれ、今後の日独交流にとって、有益な示唆を与えてくれる優れた著作である。

(柘田 義一)

## 行事予定

### ハンブルク桜の女王の来神

4月上旬にハンブルク桜の女王がハンブルク独日協会の皆様とともに来神の予定です。歓迎会の日程が決まり次第、会報等にてご案内いたします。

### フンボルト高校生の来県

キールのフンボルト高校の生徒10名が県立国際高校との交流のために5月下旬から6月上旬まで兵庫県に滞在します。昨秋にシュレーズヴィヒ・ホルシュタイン独日協会との交流協定を締結してから初めての使節訪問ですので、現在引率のボン先生と協会会員との交流の計画を立てています。

## 事務室からのお知らせ

### 会報発送ボランティア募集

会報の発送を手伝ってくださる方を募集しております。次回の発送予定日は3月8日(木)です。お手伝いいただける方は、事前に事務室へご連絡(TEL/FAX 078-230-8150)の上、12時半頃事務室にお越しください。

### これからの神戸日独協会の催し

日時	催し	会場	申込×切 など
2月17日(土) 14:00~	第171回 ドイツ語談話室	神戸日独協会 会議室	当日参加可
2月18日(日) 15:00~	実行委員会	神戸日独協会 会議室	
2月25日(日) 16:00~	会員によるコンサート	音楽ホール&ギャラリー 里夢 SATOM	2月23日まで